

いのちを、そっと。

〈今月の聖句〉 「野の花がどのように育つのか、注意してみなさい。」
(マタイによる福音書6章28～29節)

太陽の光をあびて新緑が輝く季節となりました。
ほら、見てと、差し出した黄色いバケツの底にうごめくダンゴムシ。
わあ、いっぱい集めたね、と伝えると、にっこり満足そうな笑顔。
また、「こっち来て」と園庭の隅っこに誘われるまま、ついていくと
自分だけの秘密の場所に、こっそりタンポポの花たちを並べている。
ね、きれいでしょ。ほんと、きれいだね。
何気ない遊びの傍らに、いつも自然が寄り添い、包み込んでいる。
向こうでは、元気よく駆け回り、ボールで遊ぶ子らの姿。

そのさなか届いたのは、久御山の農家さんが丹精込めた野菜苗。
一足早いが、鳴門の芋の苗もあったので、早速、植え付け開始。
芋の青々としたつる茎を一人ひとり胸元にかついで待ちながら、
先に植える子の動作を、畑のへりで首を伸ばしじっと観ている。
自分の番がくると、土穴にそっと茎先をしずめ、かけ土をする。
さっきまで砂場で力いっぱい掘ったり、固めたりしていた手が
今は苗を気づかって、ゆっくり手の平で土を整えてあげている。
いのちを大切に、育てる。
その気持ちが、教えられなくても、自然に動作にあらわれる。
植え終えた子らが駆け寄ってきて、話してくれた。
「僕が植えたの、なんだか沢山お芋ができるような気がする」
「神様がきっとそだててくれるね」

ん？ これってイエスさまが言われたことでは？
「野の花がどのように育つのか、働きもせず、紡ぎもしない。
しかし、栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも
着飾ってはいなかった。神はこのように養ってくださる。」
つくし保育園での生活がこのように豊かでありますように。
(つくし保育園園長 つだかずお)

〈母の日礼拝のご案内〉

母の日は教会から生まれた記念日です。一緒に祝いましょう。

5月11日(日)朝10時30分～

醍醐教会(お庭のチャペル)にどうぞお越しください。
こども祝福、聖書の楽しいお話、美しい讃美歌。